



# ひかいのこ

2021年度 **冬号(12・1月)**

日本キリスト教団  
**名古屋新生教会** 教会学校だより  
 名古屋市西区天神山3-7 TEL.052-531-1820  
 HP: <http://nagoya-shinsei.church/>



今年も一年間を通して「コロナ」により対策や制限が多い、我慢の年でした。来年こそは明るく輝いた、希望に満ちあふれた世の中であることを切に祈ります。

教会もクリスマスの装いになり、夕方には電飾が幻想的に礼拝堂を照らしています。みなさま良いクリスマスをお迎えください。

## 12月の礼拝 単元16: 救い主の誕生

月日	週 題	聖書箇所	教会学校礼拝 (小5~中高生) 9:00 ~ 9:30	分級 I (小1~小4) 分級 II (小5~中高生) 9:35 ~ 9:55	こどもれいはい (幼児~小4) 10:00 ~ 10:20
12月5日	マリアの賛歌	ルカ福音書 1:26-56	武岡 基	I II 合同 クリスマスに向けて (安達いづみ・武岡 基)	武岡 基
12月12日 CS クリスマス礼拝	教会学校クリスマス礼拝・祝会 13:30 ~ 礼拝説教: 安達正樹牧師 祝会では金城学院高校キャラバン隊による人形劇もあります (いつもの朝の礼拝はありません)				
12月19日 教会クリスマス礼拝	博士たちの礼拝	マタイ福音書 2:1-12	林 小夜子	I II 合同 クリスマスに向けて (安達いづみ・武岡 基)	武岡路実
12月24日 キヤンドルサービス	キャンドルサービス 17:30 ~ 教会学校に来ているみなさんは、ぜひいらしてください ローソクの明かりのもと、クリスマス・イブの礼拝を守ります。				
12月26日	エジプトへ逃れる	マタイ福音書 2:13-23	安達正樹牧師	(状況をみて) プレイ・タイム	安達正樹牧師

## 1月の礼拝 単元17: 主イエスのたとえ話

1月2日	赦しについて	マタイ福音書 18:21-35	武岡 基	(状況をみて) プレイ・タイム	武岡路実
1月9日	よいサマリア人	ルカ福音書 10:25-37	武岡路実	(状況をみて) プレイ・タイム	安達いづみ
1月16日	失われた息子	ルカ福音書 15:11-32	林 小夜子	(状況をみて) プレイ・タイム	武岡 基
1月23日	ファリサイ派の人と徴税人	ルカ福音書 18:9-14	安達正樹牧師	(状況をみて) プレイ・タイム	安達正樹牧師
1月30日	花婿を待つ娘たち	マタイ福音書 25:14-30	安達正樹牧師	(状況をみて) プレイ・タイム	安達いづみ

## 教会学校クリスマス

12月12日(日) 13:30~教会学校クリスマス礼拝・祝会 (15:00終了予定)

イエスさまの誕生をお祝いしてクリスマス礼拝を守ります。(朝の礼拝はありません)

祝会では金城学院高校キャラバン隊のみなさんによる人形劇や手遊びなどで楽しい時間を持ちます。今年もコロナ対策により、普段から教会に通っているみなさんのための会とします。

## 12・1月の聖句

今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。  
 この方こそ主メシアである。

(ルカ 2:11)

## 12月のさんびか

こどもさんびか 63 (ふねがきます)

毎年この12月にはクリスマスの賛美歌を選んできましたが、今年はアドヴェント(イエスさまの誕生を待つ期間)の賛美歌です。船は教会を表すシンボルでもあります。イエスさまの誕生と船の結びつきは、日本ではあまりなじみがありませんが、この賛美歌では、ずっと待っていた救い主がやっと来てくださったことを、船の到着で表現しています。ヨーロッパには、クリスマスの朝にイエスさまとマリアさんに乗せた船がベツレヘムにやって来たという伝説があり、イギリスにはこの伝説を歌うクリスマスキャロル "I saw three ships" があります。聖書の記述とおりの物語ではありませんが、世界の地理が一般の人々にまだよく知られていなかった時代に、遠い土地「ベツレヘム」のクリスマス物語を理解しようとした工夫が、こうした伝説として残されています。作詞・作曲は佐久間彪さん(1928-2014)です。彼はカトリックの神父で東京大司教区司祭としてお働きになられたと共に作詞・作曲活動を幅広く行い、多くの作品を残しました。『こどもさんびか』では、40「かみさまのあいは」も彼の作詞作曲によるものです。

## 1月のさんびか

こどもさんびか 139 (ハクナ ワカイタ サ イェス)

久しぶりに歌いにくいカタカナの歌詞が登場する外国の賛美歌です。1月から3月にかけて「イエスさまのたとえ話」、「イエスさまに出会った人々」、「イエスさまの十字架への道」について学びます。このジンバブエの賛美歌は、原語ではショナ語で「イエスさまのようなかたは他にはおられない。どこまでも行ってずっと探し続ける」という内容の歌詞です。日本語詞ではさらに「イエスさまを真ん中に、一緒に話を聞いて語り合おう」と歌います。ズールー語やスワヒリ語などアフリカの諸言語や英語にも翻訳され、世界中で歌われています。

2000年前にイエスさまの誕生の知らせを聞いた羊飼いたちや東方の博士たちは、「さあ行って、イエスさまに会おう!」と意気込んでいたことでしょう。また、後にイエスさまと出会った人びとも、「イエスさまのみ言葉を聞きに行こう!」と、イエスさまをどこまでも熱心に追いかけていたことでしょう。アフリカ諸国の賛美歌にみられる素朴で率直な信仰表現は、私たちにとっては新鮮なものです。聖書に登場する民衆の信仰に通じるものがあります。礼拝の初め、聖書朗読や説教の前、諸外国ではリズムに乗って打楽器やダンスを伴って歌われることが多い賛美歌です。新しい年の初め、私たちもまた心新たに「イエスさまに会いに行こう!」と歌いましょう。

おたんじょうびおめでとう

12・1月生まれのお友だち